



2011年2月25日発行

そろそろ花粉症で悩む人も増えてきましたが、皆さんはいかがですか。花粉症の3大症状は鼻水・鼻づまり・くしゃみです。この辛さはなった人でないとわかりません。目のかゆみも加わると集中力も低下します。花粉症の原因は花粉が鼻などの粘膜につくと、ヒスタミンが細胞から放出されて、目や鼻などに不快な症状をおこすことによります。

ヒスタミンには体への悪影響だけでなく重要な作用もあるのです。

脳での働きで、覚醒作用、学習機能、記憶の調整、食欲、体温調節、ストレスの制御にも関係しているとされています。ヒスタミン受容体は4種類あり、花粉症の症状や、炎症、アレルギー反応に関係するのは主にH1受容体です。脳でも同じ受容体で働いています。花粉症を治すにはH1受容体に結合する抗ヒスタミン薬を使いますが、この薬が脳に入ると集中力や判断力、作業能率が低くなります。市販で売られている抗ヒスタミン薬にはクロルフェニラシンという第一世代の薬が多いので注意したいものです。病院で処方されている薬は第二世代品が多いので、脳に対する作用はありません。抗ヒスタミン薬も選んで使いましょう。

“ ちょっとブレイク ”

8月に妊娠を発表し、最近男児を出産した野田聖子衆議院議員(50才)はアメリカで卵を提供してもらい妊娠にいたりました。日本人が利用することも多い「卵子ビジネス」皆さんはどうお考えですか。
来月は卵子ビジネスについて報告します。

